

令和4年度 ぼくとの決算

市が実施するさまざまな事業は、みなさんが納めた税金や国・道からの支出金、市債(借入金)などを財源として行っています。税金などがどのように活用されたのか、令和4年度の決算をお知らせします。

問 市役所財政課財政係 ☎73-3111[内線218]

■特別会計の決算 (単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	5,043,879	4,924,586	119,293
後期高齢者医療事業	623,821	622,379	1,442
介護保険事業	4,666,660	4,538,985	127,675
土地区画整理事業	49,319	49,319	0
渡島公平委員会	1,913	84	1,829

■水道事業会計の決算 (単位:千円)

収益的収入	881,515
〃 支出	662,735
資本的収入	191,773
〃 支出	701,690

■下水道事業会計の決算 (単位:千円)

収益的収入	1,162,415
〃 支出	1,090,857
資本的収入	512,090
〃 支出	873,304

特別会計の決算額

市には「受益」と「負担」の関係がはつきりわかるよう、一般会計と分けて経理する5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計があります。これら特別会計などの令和4年度決算額は次の表のとおりです。水道事業会計・下水道事業会計の資本的収支不足は、建設改良積立金などで補うこととなります。

一人当たりの税負担と使われたお金はいくら?

一般会計歳入のうち、市税の決算額は53億2334万円で、この決算額を令和5年3月末現在の人口4万4087人で割ると、市民一人当たりの負担額は、12万0746円になります。

また、一人当たりに使われたお金は、52万6743円で、目的別では、福祉や医療、子育て環境の充実などのための予算科目、民生費に最も多く使われており、また物価高騰対策経費を含む総務費にも多く使われていることとなります。

市民一人あたりに使われたお金 526,743円

- 民生費 186,467円
- 総務費 92,707円
- 教育費 32,921円
- 公債費 42,034円
- 職員給与費 41,613円
- その他 4,319円
- 土木費 62,788円
- 商工費 6,374円
- 農林水産業費 14,485円
- 衛生費 24,072円
- 消費費 18,963円

財政の健全化判断指標

実質公債費比率 5.0% (令和3年度4.3%)

市の収入のうち、どれくらいを長期借入金の元利償還金の返済に充てているか判断する指標。この比率が高い場合は、長期借入金の返済に追われ、財政の弾力性が低下することになります。(早期健全化基準25.0%)

※その他の指標の「実質赤字比率」「将来負担比率」、また、水道事業会計や下水道事業会計の「資金不足比率」はいずれも赤字や資金不足はなく、数値が生じませんでした。

一般会計 令和4年度に使ったお金

歳出 決算額 232億2,250万5千円

歳出 [支払ったお金]

区 分	令和4年度		令和3年度		前年度との比較 (A-B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
総務費	2,470,130	10.6	4,279,410	17.6	△1,809,280
民生費	8,706,004	37.5	8,616,281	35.4	89,723
衛生費	1,080,346	4.7	1,113,143	4.6	△32,797
農林水産業費	631,147	2.7	670,454	2.7	△39,307
商工費	295,771	1.3	295,479	1.2	292
土木費	3,175,318	13.7	2,901,740	11.9	273,578
消防費	902,202	3.9	873,856	3.6	28,346
教育費	1,933,401	8.3	1,521,476	6.3	411,925
公債費	1,884,232	8.1	1,941,217	8.0	△56,985
職員給与費	1,946,725	8.4	1,922,788	7.9	23,937
その他	197,229	0.8	200,680	0.8	△3,451
計	23,222,505	100.0	24,336,524	100.0	△1,114,019

区 分	令和4年度		令和3年度		前年度との比較 (A-B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
人件費	2,320,969	10.0	2,353,116	9.7	△32,147
公債費	1,884,232	8.1	1,941,217	8.0	△56,985
扶助費	6,620,449	28.4	7,495,737	30.8	△875,288
普通建設事業費	2,253,702	9.7	2,101,362	8.6	152,340
災害復旧費	18,957	0.1	27,468	0.1	△8,511
失業対策費	0	0.0	0	0.0	0
繰出金	1,476,834	6.4	1,493,901	6.1	△17,067
積立金	374,311	1.6	1,192,701	4.9	△818,390
投資及び出資金・貸付金	618,500	2.7	442,947	1.8	175,553
物件費	3,453,859	14.9	3,154,380	13.0	299,479
補助費等	3,358,402	14.5	3,483,955	14.3	△125,553
維持補修費	842,290	3.6	649,740	2.7	192,550
計	23,222,505	100.0	24,336,524	100.0	△1,114,019

一般会計 令和4年度に入ってきたお金

歳入 決算額 238億6,903万1千円

歳入 [入ってきたお金]

区 分	令和4年度		令和3年度		前年度との比較 (A-B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
市税	5,323,340	22.3	5,228,513	21.0	94,827
分担金及び負担金	39,575	0.2	47,288	0.2	△7,713
使用料及び手数料	383,059	1.6	412,166	1.7	△29,107
繰入金	1,043,129	4.3	1,479,963	5.9	△436,834
繰越金	288,039	1.2	301,358	1.2	△13,319
諸収入	380,345	1.6	443,307	1.8	△62,962
その他	232,748	1.0	186,359	0.8	46,389
地方交付税	6,509,400	27.3	6,453,641	25.9	55,759
市債	1,058,142	4.4	1,092,319	4.4	△34,177
国庫支出金	5,174,481	21.7	5,981,283	24.0	△806,802
道支出金	1,901,538	8.0	1,726,738	6.9	174,800
地方譲与税	213,779	0.9	209,375	0.8	4,404
地方消費税交付金	1,152,343	4.8	1,123,852	4.5	28,491
その他	169,113	0.7	213,401	0.9	△44,288
計	23,869,031	100.0	24,899,563	100.0	△1,030,532

その他経費では、令和3年度に北海道が公表した津波浸水想定区域を踏まえて、物件費で、防災ハンドブックの改定を行ったほか、移住定住促進対策や情報発信に関する事業などにより、2億9947万9千円の増となっています。また、維持補修費で、例年を上回る大雪のほか、除雪運行管理システムの導入経費に伴い、除排雪対策経費が増加したため、1億9255万円の増となっています。

一般会計の決算 6億4652万6千円の黒字

一般会計の決算額は、歳入が238億6903万1千円、歳出が232億2250万5千円で、差引額は6億4652万6千円です。このうち、令和5年度への繰越事業に充てられる財源5241万1千円を除いた実質収支額は5億9411万5千円となっています。

令和4年度歳入は、前年度に比べ10億3053万2千円(4.1%)の減と

なりました。主な理由は、基金からの繰入金や国庫支出金の減少などによるものです。

また、歳出についても、前年度に比べ11億1401万9千円(4.7%)の減となりました。

経費を性質別でみた決算額

歳出を性質別に分類すると、「義務的経費」「投資的経費」「その他経費」の3つに分けられます。

義務的経費は、人件費や、借入金

の償還金である公債費、児童手当・各種支援費などの扶助費があり、その支出が義務付けられている経費です。投資的経費は、道路や学校などを建設する普通建設事業費や、災害復旧費などの経費です。その他経費は、義務的経費や投資的経費に含まれない経費です。

義務的経費では、扶助費で新型コロナウイルス感染症対策経費が減少したことにより、前年度に比べ8億7528万8千円の減となっています。

投資的経費では、普通建設事業費で子どもから高齢者まで楽しめる公園を整備するため、北斗市運動公園リニューアル工事に着手したほか、市内の道路河川や住民施設の改修工事などにより、1億5234万円の増となっています。